

第5年2組 社会科学学習指導案

令和5年7月4日(火) 5校時
島根大学教育学部附属義務教育学校
指導者 伊東孝之

1 単元名 米づくりのさかんな地域 ～松江市・湖北平野の米づくり～

2 授業構想と探究への手立て

本単元では、米づくりのさかんな地域として、松江市の湖北平野を取り上げる。島根県は、全国と比較して耕地に占める水田の割合が高く、人口一人あたりの米の生産量は全国でも上位に入る。中でも、松江市北部に広がる湖北平野は、県内有数の穀倉地域である。湖北平野では、広大な平地や山川からの豊富な水、日本海側特有の気候を生かしながら、昔から米づくりがさかんに行われてきた。しかし、近年、高齢化や職種の多様化によって後継者が不足し、一帯の農地の維持が課題となっていた。そのような状況の中、約20年前、湖北平野の一角にライスフィールド有限会社(以下、ライスフィールド)という水稻経営を主体とする農業法人が設立された。ライスフィールドは約42haの農地からスタートし、担い手が不在となった地域の農家から農地を借りるという形で農地を集積してきた。そして、現在では約260haの農地を管理・維持しながら地域の水田を守り、大規模な米づくりを展開している。その他にも、効率性を重視した農業経営、耕畜連携や後継者の育成などの先進的な取組を進め、2023年には日本農業賞「個別経営の部」で大賞を受賞した。地域の中の一人の生活者である子どもたちにとって、身近な地域から我が国の米づくりについて学び、地域が抱える課題に立ち向かう先進的な取組からこれからの米づくりの発展について考えていくことは、問題を「我がこと」として捉え、主体的に探究を進める上で重要である。湖北平野の米づくりの事例を通して、子どもたちが社会的事象の見方・考え方を働かせながら、米づくりや様々な取組について自ら問いをもち、米づくりのよりよい未来について考えていく姿を目指していきたい。

本単元は、探究的な学習を進めるため、「つかむ」「調べる・考える」「まとめる」「ふりかえる・いかす」の4つの学習過程で構成する。「つかむ」過程では、図や写真などから湖北平野で米づくりがさかんに行われている理由について考え、子どもたちから出た意見をもとに「湖北平野で米づくりに関わる人々は、自然を生かしながら、どのような工夫や努力をして、よりよい米を生産しているのだろう。」という単元を貫く問い(学習問題)をつくる。子どもの考えをもとにして、問いを「子ども自身の問い」にすることが、単元を通して子どもの探究的な学びを支えるものとなる。と考える。「調べる・考える」過程では、学習問題の解決に向け、米づくりに適した自然条件や米づくりにかかわる人々の工夫や努力を、資料や見学などを通して探究する。工夫や努力の背景にある人々の思いや、米づくりが抱える課題、課題を解決するための取組についても考えながら、探究を深めていく。「まとめる」過程では、探究してきたことを図にまとめる。工程や輸送、販売だけではなく、課題や取組についてもまとめ、米づくりの発展について考える場面につなげていきたい。「ふりかえる・いかす」の過程では、米づくりの盛んな地域の他の事例として、庄内平野の米づくりに関する取組を扱い、湖北平野の取組と比較しながら、米づくりに関わる人々の工夫や努力についてさらに考えを深めていく。そして、これからの米づくりの発展に向けて、消費者や生産者の立場からできることを考えていく。

「調べる・考える」過程の7時間目である本時は、ライスフィールドが農地集積の取組を進める理由について考える。地域の農地を借りて大規模な水稻経営することが、単に米づくりによる収益を上げるだけでなく、高齢化や後継者不足に悩む地域の米づくりや地域の田園風景を守っていることにも気付くことができるようにしたい。地域の米づくりが抱える課題と関連付けながら、ライスフィールドが取り組む米づくりに関して多角的に考える子どもの姿を目指していく。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①米づくりの工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用、米づくりについての課題やその解決に向けての取組などについて、見学・調査したり地図や各種の資料などで調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、米づくりにかかわる人々の工夫や努力について理解している。 ②調べたことを図や文などにまとめ、我が国の米づくりにかかわる人々が生産性や品質を高めるように努力したり輸送や販売方法を工夫したりして、良質な米を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。	①米づくりの工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、問いを見出し、米づくりにかかわる人々の工夫や努力について考え、表現している。 ②米づくりにかかわる人々が抱える課題と様々な取組を関連付けながら、米づくりに関わる人々の工夫や努力について考えたり、学習したことをもとに、これからの米づくりに関して多角的に考え、自分の考えをまとめたりして、適切に表現している。	①我が国の米づくりに関して、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、主体的に学習問題を探究し、解決しようとしている。 ②学習したことをもとに、消費者や生産者の立場から、これからの米づくりの発展について考えようとしている。

4 単元全体の流れ（全 14 時間）

- ・湖北平野で米づくりがさかんに行われている理由について考え、学習問題をつくる。(1・2)
- ・湖北平野の自然条件、米づくりの一年間の工程、生産性や品質を高めるための工夫や努力、米づくりにかかわる人々の協力関係、輸送や販売、費用などについて調べる。(3・4・5・6・7・8)
- ・米づくりに関わる人々が抱える課題について調べ、課題の解決や今後の米づくりの発展のためにライスフィールドが行っている多くの取組やその意義について考える。(9・10 本時・11)
- ・米づくりにかかわる人々の工夫や努力について話し合い、学習問題についてまとめる。(12)
- ・他の地域の米づくりにかかわる人々の工夫や努力などについて調べる。(13)
- ・これからの米づくりの発展について、消費者や生産者の立場からできることを考える。(14)

5 本時の学習（第 9 時／全 14 時間）

(1) 目標

ライスフィールドが地域の農地を集積して米づくりを行っている理由を考えることを通して、取組の意義について、地域の米づくりにかかわる人々が抱える課題と取組を関連付けながら、多角的に考える。(思考力、判断力、表現力等)

(2) 展開

主な学習場面と子どもの取組	目指す姿と取組を支える手立て
<p>1. ライスフィールドの農地集積の取組について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本全体の米の作付面積は減っていたけど、ライスフィールドでは、260 haもあるたくさんの田んぼで米づくりをしていたね。 ・ライスフィールドは田んぼを地域の人から借りているんだね。 ・米づくりをしているほとんどの田んぼを借りているね。なぜこんなにたくさん借りているだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ライスフィールド周辺の水田の写真を提示し、広い面積の水田で米づくりをしていたことを想起できるようにする。 ・ライスフィールドの現在の農地の面積や会社設立前から所有していた農地の面積がわかる資料を提示し、本時の問いへの意識を高めることができるようにする。
<p>ライスフィールドは、なぜたくさんの田んぼを借りて米をつくっているのだろう。</p>	
<p>2. ライスフィールドが、たくさんの田んぼを借りて米づくりをしている理由について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの田んぼを借りると、その分効率よくお米がたくさんつくれて、会社が儲かるからかな。 ・日本では農業をする人の高齢化率が上がっていたから、ライスフィールドでも米づくりができなくなった人の田んぼを借りていると思うよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの資料や板書の写真を掲示しておき、前時までに学習した米づくりや米づくりにかかわる人々が抱える課題等について振り返りながら考えることができるようにする。
<p>3. 資料と関連付けながら、本時の問いについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・湖北平野では歳をとって米づくりができなくなった人が増えているから、その分たくさんの田んぼを借りているのかな。 ・米づくりをする人がいないと、田んぼがなくなってしまうね。そうならないように、たくさん田んぼを借りて米づくりをしているんじゃないかな。 ・ライスフィールドは、高齢化や米をつくる人がいなくて困っている地域の農家のために、たくさん田んぼを借りているのかもしれないね。 ・ライスフィールドがやっていることは、地域の人のためにもなるし、たくさんお米ができて会社も儲かるし、消費者もお米が食べられるし、みんなにとっていいことがあるね。 ・田んぼを貸してもらった農家の人にもたくさんお金を払っているんだね。米づくりができなくなった農家の人たちのことも考えているのかな。 ・ライスフィールドは、地域で米づくりができない人のために「やってあげている」のではなく、地域の人と同じ立場で、一緒に地域のことを考えているんだね。 ・ライスフィールドは、地域や地域にくらす人を大切にしながら、湖北平野の田んぼや米づくりを守っているんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・松江市と湖北平野の高齢化率がわかる資料や松江市の就農人口の変化に関する資料を提示し、地域の米づくりの課題とライスフィールドの取組を関連付けて考えられるようにする。 ・ライスフィールドにとっての利点、地域にとっての利点を問い返し、板書上で整理していくことで、取組について両方の視点から考えることができるようにする。 ・農地を借入するための費用がわかる資料や地域の人と一緒に活動する写真を提示し、ライスフィールドが自社の利益だけでなく、地域の人々とのつながりを大切にしながら、地域とともに、高齢化する湖北平野の水田や米づくりを守り、発展させていこうとしていることに気付くことができるようにする。

<p>4. 本時の学習を振り返る。</p> <p>ライスフィールドが、地域の人からたくさん田を借りて米づくりをしているのは、ライスフィールドにとっても米をたくさんつくれるし、消費者もお米をたくさん食べられるし、地域の人にとっても、地域の田んぼや米づくりを守ることができるし、みんなにとってもよいことがあるからだと思いました。地域を大切にしながら米づくりや田んぼを守っていければ、米づくりの未来も安心だと思います。他にも米づくりの課題や、それを解決するための取組を知りたいです。</p>	<p>・本時の学習について、考えたことやもっと知りたいことを書けるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価の観点（思考・判断・表現）】</p> <p>ライスフィールドが地域の農地を集積して米づくりを行っている意義について、地域の米づくりにかかわる人々が抱える課題と取組を関連付けながら多角的に考えている。</p> <p style="text-align: right;">（発言・ワークシート）</p> </div>
--	---

(3) 評価

十分満足できると判断される状況	概ね満足できると判断される状況	努力を要する状況への手立て
<p>概ね満足できると判断される状況に加え、消費者の立場からも多角的に考えている。</p>	<p>ライスフィールドが地域の農地を集積して米づくりを行っている意義について、地域の米づくりにかかわる人々が抱える課題と取組を関連付けながら、ライスフィールドと地域の両方の立場から、多角的に考えている。</p> <p>（十分満足できると判断される状況にするための手立て）</p> <p>本時の問いについて話し合う中で、湖北平野でお米がたくさんとれることのよさについて考えことができるように問い返しをする。</p>	<p>高齢化率や就農人数の変化の資料を丁寧に確認したり、取組についてライスフィールドの利点や地域にとっての利点を問い返したりする。</p>